

日本労働社会学会会員各位

日本労働社会学会通信 第21期 第7号 2009年1月21日(水)

日本労働社会学会事務局(第21期)
〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4
横浜国立大学経営学部 小川 慎一(おがわ・しんいち)
Tel & Fax: 045-339-3767 E-mail: sogawa@ynu.ac.jp
学会 HP: <http://www.jals.jp>

★会費納入★恐れ入りますが学会費の納入は、現金書留ではなく、下記の口座までお願いします。

【郵便振替口座】口座番号: 00150-1-85076 加入者名: 日本労働社会学会
【銀行振込口座】三菱東京UFJ銀行 浜田山出張所
口座番号: 普通預金 0411742 口座名: 日本労働社会学会 榎本環
◆年会費 学生・院生会員: 6,000円 / 一般会員: 10,000円

今後の日程:

1. 次回(第21期第3回)幹事会 2009年3月7日(土)午後13時-15時
青山学院大学渋谷キャンパス・ガウチャーメモリアルホール(15号館)
9階の15906教室
(<http://www.aoyama.ac.jp/other/map/aoyama.html>)
2. 次回(第21期第2回)研究例会 2009年3月7日(土)午後15時-
(幹事会終了後)
青山学院大学渋谷キャンパス・ガウチャーメモリアルホール(15号館)
9階の15906教室
(<http://www.aoyama.ac.jp/other/map/aoyama.html>)
報告者: 川上千佳氏(奈良女子大学大学院)
テーマ:「女性ホワイトカラーと保育サービス」(仮題)
※報告概要は追ってお伝えいたします。
3. 第21回大会 2009年11月20日(金)・21日(土)・22日(日)
会場: 佛教大学(アクセス <http://www.bukkyo-u.ac.jp/bu/guide/access/>)
※観光シーズン中ですので、宿泊先や交通手段の早めのご予約をお勧めします。

もくじ

- I. 日本労働社会学会第20回大会総会議事録
- II. 研究例会のお知らせと報告者の募集(再掲)

- I. 日本労働社会学会第20回大会総会議事録

開催日時: 2008年10月25日 12:20~14:05 専修大学

1. 開会挨拶: 藤田栄史代表幹事から開会の挨拶があった

2. 議長選出：議長として、田中直樹会員を選出した。
3. 事業報告：笹原恵幹事（事務局長）

笹原事務局長から2007年10月～2008年10月の間の事業報告がなされた。

 - (1) 会員 入会者 14人 退会7人 現会員数 計284人
(参考：2007年度 入会8人、退会17人 <この他遡及4人> 277人)
なお会員名簿を本日配付しているが、大会欠席者には追って郵送する予定である。
 - (2) 幹事会開催状況
幹事会6回開催（2007年10,12月 2008年3,7,9,10月）
 - (3) 通信発行
通信5回、速報・急報9回発行した。
4. 『日本労働社会学年報』編集委員会報告：赤堀正成幹事（年報編集委員長）

赤堀年報編集委員長から、年報18号が今年5月に発行したと報告があった。また、現在、19号の編集を進めており、投稿論文の第一次査読が終了し、投稿者が加筆している段階であり、年度内発行を目指し作業中である。
5. 『労働社会学研究』編集委員会報告
：大重光太郎（ジャーナル編集委員長）

大重労働社会学研究（ジャーナル）編集委員長から、ジャーナル9号を今年3月に発行したことの報告があった。現在は第10号の編集にあたっており、投稿論文8本のうち、査読を経ておそらく半分程度になる見込みであり、例年通り、年度内の発行予定である。最後に会員の査読への協力についての謝辞が述べられ、今後ともご協力いただきたい旨の挨拶がなされた。
6. 研究活動委員会報告：中川功幹事（研究活動担当）

中川研究活動担当幹事より、今年度は、東京で3回（2007年12月、2008年3月、7月。いずれも拓殖大学）、関西で2回（関西労働社会学研究会、2007年12月、2008年7月、いずれも仏教大学）の研究会を開催したとの報告があった。また社会政策関連学会協議会設立準備委員会等主催シンポジウムにおいて、当学会から木下武男会員が報告を行った。なお、学会奨励賞の推薦のために、会員の研究業績リスト配信制度を開始したので、今後よりいっそう充実させていきたい。
7. 労働調査プロジェクト報告：河西宏祐幹事（労働調査プロジェクト担当）

労働調査プロジェクトの経過と今後の活動予定について、河西幹事から報告・提案があった。昨年実施した労働調査についての会員アンケートをふまえ、①非正規労働者問題、②新しい労働組合の実態、③福祉労働者問題、の3本のプロジェクトをたてる予定であり、幹事会の下で取り組む案が示された（幹事会では今年4月に提案済）。幹事会の交代時期にあたることから、次期幹事会に引き継ぐ予定であり、「労働調査プロジェクト」担当幹事を中心に組み立てていく予定である。
8. 「社会政策関連学会ネットワーク」への参加について／
社会学系コンソーシアムへの参加報告：藤田代表幹事

藤田代表幹事より、「社会政策関連学会協議会設立準備委員会」が7月末に正式に「社会政策関連学会ネットワーク」として立ち上がり、当学会としては「オブザーバー」として参加したという報告があった。昨年の総会では「準備会」への参加について承認してもらったが、当学会としてもこのネットワークに正式に参加することが提案され、異議なく承認された。なおネットワークの会費は学会の規模によって異なるが、労働社会学会の場合は「300人以下の学会」ということで、会費は1万円であることが報告された。

また昨年から参加している「社会学系コンソーシアム」のシンポジウムが今年開催されたこと、規約を整え、8月に連合体申請をしていることなどの報告があった。

9. 第20期決算報告：榎本環幹事(会計担当)

第20期の決算について、榎本会計担当幹事から決算書に基づき、下記の説明があった。

- ① 今年3月に未納に関する連絡を会員に行い、振り込み書を送付したため、完納率が高まった。
- ② 収入については、学会誌バックナンバーの販売がやや多くなり、また昨年、「資産形態」の様式を、「一般収支」(短期運転資金)と「基金・カンパ資金」(中長期資金)の区別をつけたため、利息が増加した。
- ③ 支出については、年報17号、年報18号と、年報2号分の支出により決算額が増となっている。
- ④ 「資産内訳」(基本勘定)の「現預金一時調整」(-70,000)は、下記のような事情で生じたものである。東信堂への年報18号の代金の振込の際、郵貯ATMを利用したところ、キャッシュカードでの一日の現金引き出し限度が50万円であったため、学会が、会計担当者から1週間、借入を行ったという形になったため生じたものである。請求書の到着が遅かったうえ、会計年度との関係で9月中に支払いを済ます必要があり、郵貯口座のある本局に出かける時間がなかったという事情であった。1週間後に精算をすませているものの不手際であることをお詫びしたい。

10. 第20期監査報告：林弥富監事

林監事から会計が適正に処理されていることについて報告があり、会費収入の大幅アップなど会計担当者の努力について大いに評価している旨の発言があった。しかしこの仕事ぶりからみて会計担当の増員が課題になるのではないかとといった指摘もなされた。

11. 第21期予算について：榎本環幹事(会計担当)

第21期予算について、榎本会計担当幹事から予算案に基づき、下記の説明があり、異議なく承認された。

- ① 例年どおりの方針にしたがって予算を編成した。
- ② シニア会員、常勤職にない会員についての減免制度案、および書式案について提案し、異議なく承認された。
- ③ 年報15号未払い分を2009年度予算から支出することにしたい
：年報15号についての未払いが判明したため、今回先の提案をすることにした。15号についての支払いは、2005年度になされる予定であったが、出版社と当時の会計担当の間で行き違いがあり、今回未払いが判明したため、支出したものである。

再発防止策として、引継ぎを明確にするほか、東信堂からの請求書を会計担当へ確実

に送付してもらい、支払についての情報を会計担当者、代表幹事、事務局で共有し、幹事会で報告するなど情報共有に努めることなどを実施したい。

④ ジャーナル費用については、東信堂から、発行時の申し合わせよりもページ数が多くなったことから、定価の7割で納入するという条件へ変更したいという申し入れがあったため、この条件に合う形で予算をたてた。

12. 第5回日本労働社会学会奨励賞の選考経過と結果について

：神谷拓平幹事（研究活動担当）

神谷研究活動担当幹事から、第五回日本労働社会学会奨励賞の選考委員および選考過程について説明があった。本年度は推薦が一件もなく、奨励賞が選定されなかったとの報告があった。次回より二年間の期間とすることなども含めて検討したい。今年度の奨励賞審査委員は、藤井史朗、田中夏子、浅生卯一の三会員であり、来年度までが任期であることも報告された。

13. 第5回日本労働社会学会奨励賞 授賞式

今回は該当者がなかったことから授賞式は行われなかった。

14. 次回大会開催校について

(1) 代表幹事からの紹介

藤田代表幹事から、来年度の大会開催校を仏教大学（高橋伸一会員）が引き受けてくださったことの紹介があった。

(2) 開催校責任者挨拶

仏教大学の高橋伸一会員が大会に参加できなかったため、代理として吉田秀和会員から挨拶があった。

15. 次期幹事会選出幹事選挙

(1) 代表幹事から選挙管理委員の選出

藤田代表幹事が、勝侯達也会員、大黒聡会員、坂岡庸子会員の3人に選挙管理委員を推薦し、異議なく承認された。また互選により大黒会員が委員長に選出された。

(2) 投票

大黒選挙管理委員長から、今回は選出幹事候補者が10人であることから、信任投票を行う旨の説明がなされ、信任投票が行われた。

(3) 開票 選出幹事名発表

投票の結果、選出幹事候補者全員（藤田栄史、榎本環、神谷拓平、筒井美紀、古田睦美、中園桐代、吉田誠、鈴木玲、松戸武彦、小川慎一、敬称略）が信任されたことが報告された。

16. 会計監事の選出

藤田代表幹事により、遠藤公嗣会員、柴田弘捷会員が選出されたことが報告された。

17. 閉会

（文責 笹原）

Ⅱ. 研究例会のお知らせと報告者の募集（再掲）

次回研究例会は次の日程・会場を予定して開催されます。研究報告を希望される方は、2月10日（金）までに、報告テーマならびに報告要旨（400字～600字程度）を添付のうえ、研究例会担当・神谷拓平（kamiya@mx.ibaraki.ac.jp）までお申し出ください。

日時：2009年3月7日（土）午後15時より

会場：青山学院大学渋谷キャンパス

ガウチャーメモリアルホール（15号館）9階の15906教室

（<http://www.aoyama.ac.jp/other/map/aoyama.html>）

報告者：川上千佳氏（奈良女子大学大学院）

テーマ：「女性ホワイトカラーと保育サービス」（仮題）

※報告概要は追ってお伝えいたします。

※もう1名の方の報告を予定しています。（神谷拓平・筒井美紀）

以上